胆管結石に対する内視鏡的結石除去の治療成績

１．研究の対象

2017 年 4 月～2025 年 6 月に当院で胆管結石に対し内視鏡治療を受けられた方

２．研究目的・方法

胆管とは、肝臓から十二指腸までを結ぶ導管で、肝管および胆嚢からの胆汁を十二指腸へ流す役割を担います。年齢とともに胆嚢内や胆管内に胆石と呼ばれる石ができ、胆石が胆管に詰まってしまうことで胆汁の流れが悪くなり、膿がたまり、急性胆管炎を発症してしまいます。胆管結石に対する標準的治療は内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)とこれに続いて行うバスケットカテーテルあるいはバルーンカテーテルによる内視鏡的結石除去術です。しかし、内視鏡的に治療困難な結石も存在し、また、ERCP 後膵炎、EST 後出血などの合併症リスクもある治療法となります。内視鏡治療のリスクの高い患者様や、治療困難な結石に対して、様々な治療戦略が選択肢となりますが、最適な内視鏡治療の方法は未だ議論の余地があるところです。そこで、今回当院で胆管結石に対して内視鏡治療を試みた方の診療録を調査して、内視鏡的結石除去の治療成績と安全性を調査し、総胆管結石に対する最適な治療方法や治療時期を明らかにします。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日

３． 研究に用いる情報の種類

対象の患者さんのカルテより、臨床所見(年齢、性別、既往歴、内服薬、胆管炎重症度、)、血液検査所見(白血球数、CRP等)、画像検査所見(ERCP術前の造影CT、MRCP、内視鏡画像による乳頭の形態、ERCP造影による総胆管径、総胆管結石の個数等)、手技成功の有無等の情報を調査します。

４．外部への情報の提供

外部への情報の提供は行いません。

５．研究組織（利用する者の範囲）

医誠会国際総合病院	主任部長	古賀　英彬
	副部長	杉山　浩平
	医長	宇都宮　蘭
	医長	若原　佑平
	医員	佐藤　直人
	医員	江口　大樹
	医員	奥村　麻里

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究実施計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
医誠会国際総合病院
住所：大阪府大阪市北区南扇町 4－14
tel：0570-099166
担当者：消化器内科　奥村　麻里

研究責任者：
医誠会国際総合病院　消化器内科　奥村　麻里